

第64期 報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、平成24年3月31日をもちまして、第64期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当期業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷から緩やかに持ち直しているものの、雇用情勢は依然厳しい状態が続いております。また、米国経済の回復の遅れ、欧州の財政危機の影響による景気回復の停滞などにより、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いています。



代表取締役社長
英 裕治

連結業績ハイライト

		第61期 平成21年3月期	第62期 平成22年3月期	第63期 平成23年3月期	第64期 平成24年3月期
売上高	(百万円)	51,188	40,739	36,867	26,696
営業利益	(百万円)	1,265	554	1,003	338
経常利益	(百万円)	134	31	348	19
当期純利益	(百万円)	130	64	△ 1,303	89
1株当たり当期純利益	(円)	0.45	0.22	△ 4.52	0.31
総資産	(百万円)	26,883	26,933	21,289	19,637
純資産	(百万円)	5,946	5,805	3,824	3,790

このような状況の中、当社グループは、光ディスクドライブの需要低迷とEMS事業の不振に加え、原材料費や中国における人件費高騰等によるコスト増加、さらにタイ洪水の影響によるパソコン生産減の影響もあり、厳しい経営環境となりました。これに対し当社グループは、希望退職を含む構造改革を実施し、その他経費削減にも努めてまいりました。その結果、当連結会計年度の連結売上高は266億9千6百万円(前期比27.6%減)、営業利益は3億3千8百万円(前期比66.3%減)、経常利益は1千9百万円(前期比94.5%減)、当期純利益は8千9百万円(前期当期純損失13億3百万円)となりました。

以上のような状況をうけまして、当連結会計年度におきましては、今後の事業展開、内部留保の充実を図るため、誠に遺憾ながら、配当を見送らせていただくことといたします。

株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

次期の課題と業績の見通しについて

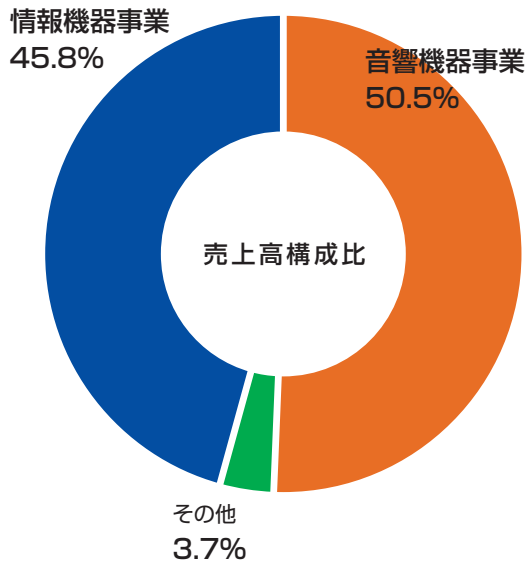
音響機器事業につきましては、高品位な音作りと顧客視点のものづくりをさらに推進するとともに、オンキヨー株式会社との資本・業務提携により、業務効率の最適化と販売の最大化を進め、また、社内のリソースの再配分により、販売および製品開発力の強化を図ってまいります。

情報機器事業につきましては、ストレージデバイス事業で培った販売ネットワークを活用し、医用画像記録機器と計測機器データレコーダーの新製品を投入することにより、海外を含めた新市場の開拓を図ってまいります。

情報機器事業においては光ディスクドライブ市況の悪化に伴う競争の激化により、採算性が低下している領域の販売を縮小するために、売上高の減少が見込まれますが、音響機器事業の業績は引き続き堅調に推移すると見込まれます。また、次期は当連結会計年度中に実施した希望退職者の募集等の構造改革の効果が現れ、全体の収益性も改善される見通しであり、平成25年3月期の連結売上高は245億円、営業利益9億円、経常利益4億5千万円、当期純利益3億5千万円を予想しております。

引き続き光ディスクドライブ市況の悪化、円高が継続しており、厳しい経営環境下にありますが、当期に実施しましたコスト削減の成果を活かし、全グループ社員一丸となって次期の業績見通しの達成に向けて邁進してまいります。

平成24年6月



当社グループは、従来コンシューマオーディオ事業、プロフェッショナルオーディオ事業、インフォメーションシステム事業およびストレージデバイス事業の4事業部体制としておりましたが、当連結会計年度より、コンシューマオーディオ事業とプロフェッショナルオーディオ事業を統合した音響機器事業およびインフォメーションシステム事業とストレージデバイス事業を統合した情報機器事業の2事業部体制に移行しております。

音響機器事業

売上高 13,484 百万円
(前期比 2.7%増)

営業利益 997 百万円
(前期比 330.2%増)

ESOTERIC

(*) (平成 23 年 12 月発売)



スーパーオーディオ CD プレーヤー
【K-05】

(平成 24 年 3 月発売)



スーパーオーディオ CD プレーヤー
【K-07】

情報機器事業

売上高 12,222 百万円
(前期比 43.4%減)

営業損失 △ 640 百万円
(前期営業利益 576 百万円)

(*)



8mm ビデオ記録/再生装置
【V-800G-F】

高級 AV 機器 (ESOTERIC ブランド) は、SA-CD プレーヤーの新製品^{(*)1} が好評を博し、特に国内での販売が大きく伸長しました。

一般 AV 機器 (TEAC ブランド) は、欧米での景気停滞の影響を受け、販売は若干減速しましたが、期中に投入した PC オーディオ関連の新製品^{(*)2} により、国内市場向け販売が好調に推移しました。

TEAC

(*)2



USB オーディオ
デュアルモノラル D/A コンバーター
「UD-H01」

USB DAC/ステレオプリメインアンプ
「A-H01」

音楽制作オーディオ機器 (TASCAM ブランド) は、震災の影響による国内設備需要の低迷、タイの洪水による商品供給の停滞およびコスト増、欧州の経済環境悪化による売上減少等の問題も発生しましたが、放送局向け製品^{(*)3} の大型受注に加え、引き続き PCM レコーダー^{(*)4}、コンピューター用オーディオインターフェイスの販売が世界的に好調に推移したことにより、販売が伸長し、音響機器事業全体では前期と比較して、増収増益となりました。

TASCAM

(*)3



放送業務仕様
CD プレーヤーシステム
「CD-9010 SYSTEM」

(*)4



リニア PCM レコーダー
「DR-100MKII」

航空機搭載用記録再生機器^{(*)5} は年間を通して安定した販売を維持、特に新製品の投入が販売増に貢献しました。計測機器はデータレコーダー^{(*)6} が鉄道関連を中心に概ね順調に推移しましたが、センサー関連においては LED 用サファイア引き上げ機用ロードセルが不振に終わりました。医用画像記録機器^{(*)7} はブランド製品の販売が OEM の落ち込みをカバーしたこと、また新製品投入効果もあり通期を通して堅調に推移しました。ディスクパブリッシング機器は海外でのカラーリボンの販売が伸びました。

(*)6



実験室やフィールドで電圧、音、振動、ひずみ現象などのデータを収録し、よりスピーディーな処理を目的としたレコーディングユニット「LX-110」

(*)7



ネットワーク対応 HDD/SD 静止画・動画レコーダー
「MV-3C」

(*)8



スリム DVD-ROM
「DV-28S-Y」

通話録音機器は IT 不況の中厳しい状況でしたが、第4四半期には市場の回復が見え販売が上向きに転じました。ソリューションビジネスはケアシステムの開発遅れで販売が大きく落ち込みました。

光ディスクドライブ^{(*)8} は原価アップ、タイの洪水の影響によるパソコン生産減の影響が長引いたことによる販売数量の低下と光ディスクドライブの供給過剰から販売価格が大きく下落し大幅な減収となり、情報機器事業全体でも前期と比較して減収となり営業損失を計上しました。

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当期 平成24年3月31日現在	前期 平成23年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	15,093	17,020
現金及び預金	4,915	5,318
受取手形及び売掛金	4,894	5,107
商品及び製品	3,050	3,892
原材料及び貯蔵品	1,244	1,589
繰延税金資産	661	540
前払費用	210	233
その他	220	471
貸倒引当金	△ 103	△ 132
固定資産	4,543	4,268
有形固定資産	2,721	2,910
無形固定資産	402	554
投資その他の資産	1,419	803
資産合計	19,637	21,289

	当期 平成24年3月31日現在	前期 平成23年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	8,521	9,725
支払手形及び買掛金	1,988	2,321
短期借入金	4,511	4,429
1年内償還予定の社債	—	40
1年内返済予定の長期借入金	13	15
リース債務	31	31
未払金	211	427
未払費用	842	1,053
未払法人税等	78	133
賞与引当金	270	188
製品保証引当金	247	285
返品調整引当金	99	73
事業構造改善引当金	53	587
その他	173	138
固定負債	7,324	7,739
負債合計	15,846	17,464
■ 純資産の部		
株主資本	8,458	8,369
資本金	6,000	6,781
資本剰余金	306	1,008
利益剰余金	2,259	687
自己株式	△ 107	△ 106
その他の包括利益累計額	△ 4,667	△ 4,545
純資産合計	3,790	3,824
負債及び純資産合計	19,637	21,289

Point 1 ▶ 連結貸借対照表

＜総資産＞ 固定資産はオンキヨー株式会社の第三者割当増資の引受けによる投資有価証券の増加がありましたが、流動資産は商品及び製品、原材料及び貯蔵品がそれぞれ減少し、総資産は前期末に比べ7.8%減となりました。

＜純資産＞ 当期純利益の計上による利益剰余金の増加、円高の進行による為替換算調整定の減少などにより前期末に比べ0.9%減となりましたが自己資本比率は1.3%改善いたしました。

Point 2 ▶ 連結損益計算書

＜当期純利益＞ 当期においては、前期のような事業構造改善引当金繰入額等の多額の特別損失の発生がなく、当期純利益 89 百万円を計上いたしました。

Point 3 ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞ 当期における主な内訳は、プラス要因としてた卸資産の減少額 1,115 百万円、マイナス要因としては特別退職金等の支払いに伴う事業構造改善引当金の減少額 533 百万円であります。

連結損益計算書（要約）

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
売上高	26,696	36,867
売上原価	16,868	24,908
売上総利益	9,828	11,958
販売費及び一般管理費	9,489	10,955
営業利益	338	1,003
営業外収益	117	130
営業外費用	436	785
経常利益	19	348
特別利益	29	40
特別損失	25	1,546
税金等調整前当期純利益 又は純損失(△)	23	△1,156
法人税、住民税及び事業税	58	58
過年度法人税等	14	—
過年度法人税等戻入額	—	△54
法人税等調整額	△139	143
少数株主損益調整前当期 純利益又は純損失(△)	89	△1,303
当期純利益又は純損失(△)	89	△1,303

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	485	1,059
投資活動による キャッシュ・フロー	△809	△1,066
財務活動による キャッシュ・フロー	△9	△1,440
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△79	△318
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△412	△1,765
現金及び現金同等物期首残高	4,593	6,359
現金及び現金同等物期末残高	4,181	4,593

連結株主資本等変動計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その 他有 価証 券 評 価 差 額 金	為替換 算 調 整 勘 定	その 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計	
平成23年4月1日期首残高	6,781	1,008	687	△106	8,369	99	△4,645	△4,545	3,824
当期変動額									
資本金から剰余金への振替	△781	781			—				—
欠損填補		△1,482	1,482		—				—
当期純利益			89		89				89
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						5	△128	△122	△122
当期変動額合計	△781	△701	1,571	△0	89	5	△128	△122	△33
平成24年3月31日期末残高	6,000	306	2,259	△107	8,458	105	△4,773	△4,667	3,790

貸借対照表 (要約) (平成 24 年 3 月 31 日 現在)

(単位：百万円)

■ 資産の部		■ 負債の部	
流動資産	10,781	流動負債	10,484
現金及び預金	3,529	支払手形	513
受取手形	43	買掛金	1,296
売掛金	5,251	短期借入金	7,599
商品	1,178	1年内返済予定の長期借入金	13
原材料	458	リース債務	25
前渡金	5	未払金	219
前払費用	152	未払費用	313
繰延税金資産	128	未払法人税等	29
関係会社短期貸付金	359	前受金	13
未収入金	432	預り金	53
その他	1	賞与引当金	205
貸倒引当金	△ 760	製品保証引当金	84
固定資産	13,047	返品調整引当金	42
有形固定資産	1,835	事業構造改善引当金	9
無形固定資産	40	その他	65
投資その他の資産	11,171	固定負債	6,931
資産合計	23,829	負債合計	17,415
		純資産の部	
		株主資本	6,307
		資本金	6,000
		資本剰余金	306
		利益剰余金	107
		自己株式	△ 107
		評価・換算差額等	105
		純資産合計	6,413
		負債及び純資産合計	23,829

損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

	当期 平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 24 年 3 月 31 日
売上高	20,572
売上原価	13,686
返品調整引当金繰入額	16
売上総利益	6,869
販売費及び一般管理費	6,564
営業利益	304
営業外収益	200
営業外費用	259
経常利益	246
特別利益	15
特別損失	248
税引前当期純利益	13
法人税、住民税及び事業税	△ 49
法人税等調整額	△ 45
当期純利益	107

株主資本等変動計算書 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計					
平成 23 年 4 月 1 日期首残高	6,781	1,008	-	1,008	△ 1,482	△ 106	6,199	99	6,299
当期変動額									
資本金から剰余金への振替	△ 781		781	781			-		-
準備金から剰余金への振替		△ 1,008	1,008	-			-		-
欠損填補			△ 1,482	△ 1,482	1,482		-		-
当期純利益					107		107		107
自己株式の取得						△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								5	5
当期変動額合計	△ 781	△ 1,008	306	△ 701	1,590	△ 0	107	5	113
平成 24 年 3 月 31 日期末残高	6,000	-	306	306	107	△ 107	6,307	105	6,413

TEAC

ONKYO

オンキヨー株式会社と資本・業務提携を行いました

平成24年1月、オンキヨー株式会社と資本・業務提携を行いました。相互に相手方の株式を取得することにより、両社の協力関係を一層緊密にし、事業シナジーを発揮することで双方の企業価値向上がより期待できるものと考えております。

今後は、両社それぞれのブランド力、販売力、技術力、生産力を持ち寄り、相互に補完を行うことで、両社の販売拡大、製品付加価値の向上、製品競争力の強化や新市場の開拓などにより、安定した業績の実現を目指してまいります。

写真右：オンキヨー 大舘 宗徳 社長

写真左：当 社 英 裕治 社長



身近にも私達があります！

TEAC

画像記録装置として定評を頂いている MV シリーズです。新たに MotionJPEG (動画記録) に対応し、ニーズの進化に対応いたします。医療現場では、OEM 先を含め、当社 MV シリーズが活躍しています。身近な医療機関にも私達ティアックの技術が、皆様をサポートしております。



ネットワーク対応 HDD/SD 静止画・動画レコーダー
「MV-3C」

プロ機器の新しい顔

TASCAM

メンテナンス作業を低減し、信頼性の高い音響システム構築をサポートする PORTASTUDIO シリーズです。放送現場のプロ達も、TASCAM を愛用しています。各要求を即座に対応できるよう、インターフェイス類に関しても、カラーグラフィックを多用し、視認性および操作の簡便さをより向上させ、プロのニーズに応える進化を遂げています。

DIGITAL PORTASTUDIO
「DP-24」



PORTASTUDIO 33rd ANNIVERSARY
33rd
PORTASTUDIO

■ 会社の概要

商 号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本 社 〒 206-8530 東京都多摩市落合一丁目 47 番地
 設 立 昭和 28 年 (1953 年) 8 月 26 日
 資 本 金 60 億円
 事業年度 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日
 代 表 者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 378 名 連結 1,637 名

● 主なグループ事業内容

音響機器事業

高級 AV 機器
 一般 AV 機器
 音楽制作オーディオ機器
 特殊イヤホン機器

情報機器事業

航空機搭載用記録再生機器
 医用画像記録機器
 計測機器 (トランスデューサー、データレコーダー)
 通話録音機器
 ソリューションビジネス
 介護支援個別ケアシステム
 ディスクパブリッシング機器
 コンピューター周辺機器
 民生用および産業用製品向けドライブ

● オリジナルブランド

ティアック、タスカム、エソテリック

■ 役員 (平成 24 年 6 月 22 日現在)

代表取締役社長	英 裕 治
常 務 取 締 役	田 村 正 博
取 締 役	野 村 佳 秀
取 締 役	吉 田 啓 介
取 締 役	椎 原 祥 一 朗
取 締 役	三 村 智 彦
取 締 役	前 野 龍 三
取 締 役	大 舘 宗 徳
常 勤 監 査 役	牧 野 信 明
監 査 役	平 岡 繁
監 査 役	原 琢 己

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

➡ 投資家向け情報



<http://www.teac.co.jp>

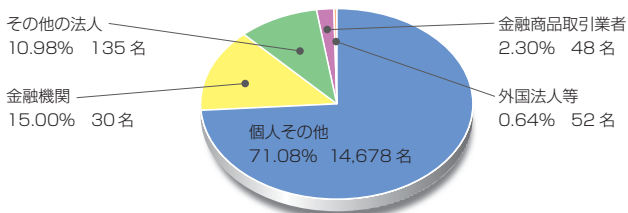
株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000 株
発行済株式の総数	289,317,134 株
株主数	14,943 名

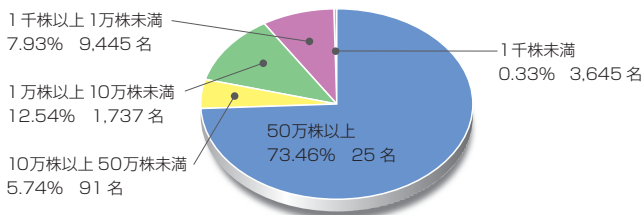
大株主（上位 10 名）

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
フェニックス・キャピタル・ パートナーズ・ワン投資事業組合	121,444	41.97
オンキヨー株式会社	28,932	10.00
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	25,100	8.67
ジャパン・リカバリー・ファンドⅢ	12,128	4.19
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.18
日本証券金融株式会社	2,670	0.92
明治安田生命保険相互会社	2,201	0.76
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
ティアック取引先持株会	1,345	0.46
株式会社損害保険ジャパン	1,342	0.46

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金受領株主確定日 3月31日

単元株式数 1,000株

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告により行う。

公告掲載URL <http://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku.html>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告
によることができない場合は、日本経済新聞
に公告します。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

■ 投資家向け情報サイトのご紹介 ■

投資家向け情報サイトに「株主総会」ページを新設し、第64回定時株主総会（平成24年3月期）より、株主総会関連の資料を掲載しています。

The screenshot shows the TEAC investor information website. The header includes the TEAC logo and navigation links for '会社情報' (Company Information), '投資家向け情報' (Investor Information), 'IR情報' (IR Information), and 'IRサイト' (IR Site). Below the header, there is a search bar and a list of services. The '投資家向け情報' (Investor Information) section is highlighted, showing a grid of icons for various services: IR News List, IR Library, IR Calendar, IR Investor Policy, Financial Information, and Shareholder Meeting. A blue arrow points to the '株主総会' (Shareholders Meeting) icon.

<http://www.teac.co.jp/ir/>

- 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。
- 記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100（代表）
ホームページアドレス <http://www.teac.co.jp>

